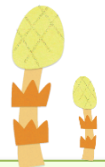


初任者研修

～旭川医科大学病院の組織の一員として出発～



旭川医科大学病院では、新任者69名を迎え入れ、8日間の日程で初任者研修を行いました。今年度はCOVID-19感染拡大予防の観点から、会場を分けて密集、密室、密接とならないように注意しながら実施しました。また、定期的に換気を行ったり、新任者全員の体調を毎日確認するなど、細心の注意を払いながら実施しました。研修では、当学のBCPLレベルに基づき、看護部長をはじめ、各部門の部門長、副部門長、担当者から病院の理念や組織の概要に関する講義があり、社会人としてだけでなく、医療人、組織の一員としての自覚醸成の機会となりました。研修者は真剣な表情で聴講しており、講義終了後には今後どのように生かしていこうと考えているのか、自身の学びや考えを発表しました。



Zoomを活用して、2つの会場に分かれて研修を行いました。会場の映像、音声、講義スライドを画面共有しながら実施したため、会場は分散していても、一体感のある研修となりました。



医療安全の講義では、フルネーム確認、ダブルチェック、キョクワアルファの重要性を学んでいました。コミュニケーションエラー防止のための指示・伝達のルールやチェックポイントについて学びました。



しんじんの時間では、一人ひとりが自己紹介をし、自分の今年度の意気込みや趣味について語り、研修者間での交流を図りました。



今年度は、フィジカルアセスメントや社会人基本力、コミュニケーションの基本、患者・スタッフへの対応に関する講義を組み込みました。



感染対策の基本である手指衛生やPPE着脱の正しい手順について確認しました。配置部署に応じ、一部の新任者には、N-95マスク装着研修を実施し、シールドの方法や正しく装着できているかフィットテストを行いました。



操作研修では、病院情報システムの基本的操作に加えて、勤務管理と電子カルテの概要について確認しました。

